

## 商品市況展望

平成 24 年 10 月 21 日記

【速報】法政大学学内封鎖！！前代未聞の厳戒態勢。過激派の侵入阻止に必死。 <http://t.co/8kCF5Pu7>  
[https://twitter.com/kazuyoshi\\_ho/statuses/259135862347010048](https://twitter.com/kazuyoshi_ho/statuses/259135862347010048)



いやー、懐かしい光景だ。30 年前は♪法政お我が母校♪だったが、期末試験等々は中核派のバリケード封鎖で、ほとんど 4 年間まともな試験も受けずに自動的卒業だった。この写真を見て懐かしいな…と思ったら、

法政が学内飲酒を禁止→反対運動起こる→大学に対し異議申し立てをする(覆面)→警察に連行される→官憲の横暴だ！

→全学連、反原発、革マル、中核、全共闘 その他色々わけわからん所から参加者が集う→今日デモ

<http://www.youtube.com/watch?v=qVHe2fRlucw&feature=plcp>

という流れらしい。

ノンポリだった当方は、学生運動に全く参加した事などないのだが、30 年前は「三里塚闘争」の頃で、「成田空港は軍用化するから反対！」などと騒いでいた覚えが…。未だに成田から戦闘機なんぞ飛んだ話は聞かないけどね。

それより中核派と革マル派は敵どうしだったので、ゲバ棒持ってリンチはあっても、共闘なんぞ考えられない時代だった。

それが、「酒飲ませろ！」と一緒に反対運動するっていうんだから、日本は平和だ… (笑)

## 〔貴金属〕

○東京金日足  
…削除済み…

### 今週の金の値動き

	10月限(当限)	前日比	8月限(先限)	前日比
10月15日	¥4,400	-60	¥4,414	-60
10月16日	¥4,413	13	¥4,424	10
10月17日	¥4,432	19	¥4,445	21
10月18日	¥4,452	20	¥4,465	20
10月19日	¥4,429	-23	¥4,439	-26

金相場は、先週号においては『チャートはWトップ形成の様相を呈して来ているため、それには注意が必要だろう。しかし、それで急落した場面は買いだろうし、仮に今のままでも大勢は買い相場に変化はないだろう。リスク許容度の問題だけだ』とコメントした。

今週の相場展開は、週明けの急落から**4,390円(10/16)まで下落**したものの、その後は再び**4,470円台まで戻した**。しかし週末はまた軟化し、その後の**夜間取引では4,384円**の安値まで記録と、10/16の安値を更新した。夜間取引の終値は4,400円ジャストである。

チャートは徐々にWトップの形成をしようとしており、**4,363円**を割り込めばそれは完成する。**長期的には買い相場という事には変わりはないと今でも考えてはいるが、それを割り込めば相応の投げは出るだろうし、そうなってくれた方が重しが取れるわけでもある。**

…中略…

それはともかくとして、もしも今の相場が4,363円を割り込んだ場合は、先週号でもコメントしたとおり『**4,363円(9/27)を割り込むと、Wトップの完成である。そうすると価格としては4,200円辺り、相対力指数の30ポイント辺りまでの下落は十分有り得る格好となる**』といった辺りまでの下げは覚悟しておく必要があるだろう。要はそこで、皆が弱気に転じてくれれば、また良い買い場になるということだ。

なお一代の動きは以下のとおり。

### 東京金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年10月	¥4,229	10月27日	¥4,652	2月27日	¥3,808	12月30日	¥4,429
2012年12月	¥4,037	12月26日	¥4,654	2月27日	¥3,808	12月30日	¥4,430
2013年2月	¥4,654	2月27日	¥4,654	2月27日	¥3,885	6月4日	¥4,437
2013年4月	¥4,307	4月25日	¥4,546	10月5日	¥3,886	6月4日	¥4,436
2013年6月	¥4,023	6月27日	¥4,548	10月5日	¥3,940	7月24日	¥4,437
2013年8月	¥4,224	8月29日	¥4,550	10月5日	¥4,166	9月3日	¥4,439

現在建っている限月の高値は、4,500円台～4,600円台。安値は先物を除いては3,800円台～3,900円台という事である。

**高安で800円ほどの差があるわけだが、4,400円台**というはまだ高い方。だからまだ勢力圏は買い方が握っているわけだが、その中間地点が4,200円辺りということだ。先限8月限の安値も

4,166 円なのだから、その辺までの調整が無いと言える値位置ではないだろう。

…中略…

○NY 金日足

…削除済み…

週末 10/19 の NY 市場は、前日比 20.7 ドル安の 1724.0 ドルでの終了。安値は 1716 ドルまであり、国内換算では 15 時半比 34 円安で、夜間取引で織り込み済み。

下げた原因は、ドル高&株安&原油安&EU サミットへの失望売り。EU は銀行監督一元化を決めたが、その実施は 2013 年中ということで動きが遅過ぎた。またスペインの支援要請も行われず、株価も 200 ドル超の下げと急落だ。

この日はブラックマンデー 25 周年であり、…中略…

ともかくチャートでは、すでに下値抵抗線の 1738.3 ドルは 10/15 に割り込んでおり、そこから内外とも戻してまた惑わせたが、この週末にまた一気に下げ、10/15 の安値 1729.7 ドルも大きく割り込んだわけだ。

すでに W トップを打っている相場であり、目先非常に悪い事は疑いようもない。

先週号で『某アナリストは、最大で 100 ドル程度下落の可能性を指摘しており、その後来年に向けて 1900 ドル~2400 ドルまでの大幅上昇をするのだとしている。仮に 1650 ドルまで下げたとした場合は、為替を現状の 78 円で計算すると約 4,140 円。1,900 ドルまで上昇した時に今の為替なら、ズバリ 4,770 円程度。更に 2,400 ドルならば 6,020 円である』としたわけだが、急騰前の急落が、今まさに来ているのではないかと考えている。

なお CFTC 発表の 10/16 現在のファンドのポジションは、…中略…

10/19 現在の ETF 残高は、…中略…

結論として当方の相場観は、NY 金は W トップ形成済みで、東京金は W トップ形成中を感じさせる格好である。またファンドも ETF も買い残が徐々に減少に転じており、相場は調整局面入りをしているだろう。大きな突っ込みを期待したい。

○東京プラチナ日足

…削除済み…

今週のプラチナの動き

	10月限(当限)	前日比	8月限(先限)	前日比
10月15日	¥4,155	-105	¥4,151	-117
10月16日	¥4,190	35	¥4,196	45
10月17日	¥4,205	15	¥4,207	11
10月18日	¥4,267	62	¥4,271	64
10月19日	¥4,211	-56	¥4,199	-72

プラチナ相場は、先週号においては『4,184円で押し目完了と考えていたが、割り込むようなら前回押し目底の4,050円(9/21)辺りまでは覚悟か。割り込まないならまた上だろうし、割り込んだなら3,800円程度まで大きく突っ込んだところをまで待って、買い狙いをしたい』とコメントした。

今週の相場展開は、週明けの急落で4,184円を割り込んだ相場が、4,123円(8/16)まで急落。しかしそこから反騰に転じた相場は、4,282円まで再び大きく戻し、週末にはまた値を消して終了である。なお夜間取引では、安値で4,127円まで下落であり、再び16日の安値に接近した。

週末のNYプラチナの下落は、…中略…

東京市場では4,050円(9/21)が下値支持線であり、これを割り込むとWトップの完成である。

週末に下落したのは、需要に対する懸念&リスク回避の動きである。…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京プラチナー代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年10月	¥3,918	10月27日	¥4,570	3月14日	¥3,375	12月30日	¥4,211
2012年12月	¥3,605	12月26日	¥4,582	3月14日	¥3,471	7月24日	¥4,199
2013年2月	¥4,535	2月27日	¥4,589	3月14日	¥3,468	7月24日	¥4,196
2013年4月	¥4,090	4月25日	¥4,381	10月5日	¥3,466	7月24日	¥4,197
2013年6月	¥3,681	6月27日	¥4,386	10月5日	¥3,460	7月24日	¥4,195
2013年8月	¥3,860	8月29日	¥4,395	10月5日	¥3,807	8月31日	¥4,199

○東京プラチナー東京金価格差日足

…削除済み…

週末現在のサヤは、4,199円(プラチナ) - 4,439円(金) = -240円。先週号で『-200円を中心にした逆張りの展開が、今は妥当なのではあるまいか』としたが、概ねそういう展開。

結論として当方の相場観は、やや弱めの逆張り相場だと見ている。本格的な買いは、急落場面を見てからだろう。

## 〔穀物〕

○東京コーン日足

…削除済み…

### 今週のコーンの値動き

	11月限(当限)	前日比	9月限(先限)	前日比
10月15日	¥28,700	0	¥26,620	-400
	1月限(当限)	前日比	11月限(先限)	前日比
10月16日	¥27,200	200	¥25,580	
10月17日	¥27,200	0	¥25,240	-340
10月18日	¥27,490	290	¥25,580	340
10月19日	¥27,610	120	¥25,610	30

まずはコーンから…

先週号においては『25,000円～28,000円でのもみ合いの展開が続くか。在庫率の5.6%という数値は大きく売られるとは思えない数値なので、基本的には押し目買いに分があるが、あとは人気が付いてくるかどうか問題だ』とコメントした。

今週の相場展開は、週明けは全面安の市況に影響を受けて下げ、16日の新甫発会以降もまた下落となったが、週末に掛けては多少戻りを入れての終了である。なお夜間取引も小戻し。

先物に2013年11月限が発会したが、これは既存の先物だった9月限と比較しても1,000円超の逆ザヤでの発会。

チャートは大きな窓を明け、…中略…

さて相場は10/1に米四半期在庫の急減という材料で急騰し、10/11に米農務省報告での期末在庫の減少を材料に急騰したわけだが、一発買われた後はすぐに値を消す展開で、まるでもぐら叩きゲームである。

2度あることは3度あるという事かもしれない、どこかでまた急騰した場面は、売りを入れたほうがマシなのではあるまいか？

とりあえず東京にしる、シカゴにしる、…中略…

一代の動きは以下のとおり。

### 東京コーン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年11月	¥24,400	10月17日	¥31,810	8月23日	¥21,060	6月4日	<b>¥28,700</b>
2013年1月	¥21,790	12月16日	¥30,950	8月22日	¥20,520	6月4日	¥27,610
2013年3月	¥23,290	2月16日	¥30,340	8月22日	¥20,820	6月4日	¥27,800
2013年5月	¥23,250	4月16日	¥30,300	8月13日	¥21,040	6月4日	¥27,780
2013年7月	¥21,550	6月18日	¥30,300	8月13日	¥21,490	6月18日	¥27,740
2013年9月	¥28,500	8月16日	¥29,430	8月23日	¥25,510	10月1日	¥27,090
2013年11月	<b>¥25,600</b>	<b>10月16日</b>	<b>¥25,800</b>	<b>10月19日</b>	<b>¥25,210</b>	<b>10月17日</b>	¥25,610

先物引き継ぎ足では、10/1の安値25,510円は今週17日に下抜けたわけだが、それを記録した9月限は27,000円台に戻しての終了だ。全然、そこまで下げてもいないわけだ。

だから相場はまだ強いのだ！と断言するほどではないが、ちょっと判断しづらい相場である事は間違いないだろう。

○シカゴコーン日足

…削除済み…

週末10/19のシカゴ市場は、12月限で0.75セント高の761.50セントでの終了。13年9月限は2.75セント安の663.50セント。東京市場の先物は、これを見るべきだろう。

CFTC発表の10/16現在のファンドのポジションは…中略…

結論として当方の相場観は、先物を除いては未だ高値持ち合いのままであるが、需給相場初期という事もあり、上値は重いだろう。どちらかと言えば戻り売りに分があると考えるが、ファンダメンタルズからさほどの急落もないだろう。逆張りの展開である。

○東京大豆日足

…削除済み…

今週の大豆の値動き

	10月限(当限)	前日比	8月限(先限)	前日比
10月15日	¥65,500	0	¥47,770	-590
	12月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
10月16日	¥55,040	-1050	¥47,590	
10月17日	¥53,890	-1150	¥47,080	-510
10月18日	¥54,600	710	¥47,920	840
10月19日	¥54,940	340	¥48,100	180

続いて一般大豆です…

先週号においては『内外とももう少し安値を出して取り組みが整理されないと、復活は困難か。大暴落は考えづらいが、46,000円程度までの下落は視野に入れておくのが無難であろう』とコメントした。

今週の相場展開は、発会した10月限で46,920円と47,000円割れを演じたものの、その後は48,000円台まで反騰。相変わらず逆ザヤ相場ではあるものの、先物2本のサヤはさほど小さくなく、2012年10月限が納会して当限に廻った12月限も大きく下げている。当先の逆ザヤはコーンよりもは大きい、縮小はしている。

2012年10月限納会は、65,500円とかなり高い値位置で終了した。これは〇〇のポジションを見れば、予想は付いていた事。

では12月限はどうなるかといえば、…中略…

さて先物である。チャートはどう見ても5万円台回復は夢のような段階であり、一方でファンダメンタルズは良いのだから、夏前のような値位置までの急落も考えづらい。となるとやはり、突っ込み買い、吹き値売りの逆張りなのだろう。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京一般大豆一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年10月	¥44,250	10月17日	¥67,000	10月10日	¥36,410	12月15日	<b>¥65,500</b>
2012年12月	¥37,500	12月16日	¥63,950	7月23日	¥36,830	12月16日	¥54,940
2013年2月	¥41,900	2月16日	¥60,000	7月23日	¥41,050	2月16日	¥54,990
2013年4月	¥45,350	4月16日	¥56,480	7月23日	¥41,750	6月4日	¥50,300
2013年6月	¥44,700	6月18日	¥52,190	7月20日	¥44,400	6月18日	¥49,370
2013年8月	¥48,020	8月16日	¥51,810	9月5日	¥47,620	8月17日	¥48,780
2013年10月	<b>¥47,220</b>	<b>10月16日</b>	<b>¥48,400</b>	<b>10月19日</b>	<b>¥46,920</b>	<b>10月16日</b>	¥48,100

○シカゴ大豆日足

…削除済み…

週末10/19のシカゴ市場は、11月限で11.25セント安の1534.25セント。シカゴも逆ザヤで

あり、2013年11月限だと1337.75セントと13ドル台である。

既存の下値抵抗線の1504ドルは今週割り込み、10/15には1485.75セントまで下落。久々の15ドル割れとなったわけだが、…中略…

なおCFTC発表の10/16現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、東京市場47,000円、シカゴ市場15ドルを割り込んだ事で、目先の底入れとなったのかもしれない。しかし戻りは限定的と思われ、相応の戻りはまた売られるだろう。2番底を付けに行くと考える。

## [ゴム]

○東京ゴム日足

…削除済み…

### 今週のゴムの値動き

	10月限(当限)	前日比	3月限(先限)	前日比
10月15日	249.9	-7.7	258.1	-6.4
10月16日	250.9	1.1	260.0	1.9
10月17日	253.0	2.1	260.7	0.7
10月18日	256.8	3.8	265.4	4.7
10月19日	248.0	-8.8	255.4	-10.0

先週号においては『[久々に相場観を180度変えて、275.5円にストップロスを置いての売り参戦を推奨](#)』とコメントした。

今週の相場展開は、週明けの260円割れの後にまた戻し、週末は266円台(夜間取引で)まであったが、日中に暴落。一気に10円安の**255.4円まで下げての終了**となった。またその後の夜間取引では254.0円~257.0円の動きだったが、NY原油などの動向を見る限り、週明けはまた安そうだ。

先週号で『[275.5円をストップロスに、260円台半ばは売っておくというのも、戦法の一つであろう](#)』としたわけだが、**今のところ大成功である**。

日経新聞紙上にも…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

### 東京ゴム一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年10月	307.2	4月24日	317.8	5月2日	200.9	8月15日	248.0
2012年11月	267.8	5月28日	274.0	5月30日	203.6	8月15日	247.5
2012年12月	233.3	6月26日	271.5	10月5日	204.5	8月15日	250.7
2013年1月	230.2	7月26日	272.7	10月5日	205.6	8月14日	251.6
2013年2月	230.0	8月26日	274.2	10月5日	216.4	8月31日	253.3
2013年3月	253.5	9月25日	275.5	10月5日	249.0	9月27日	255.4

当先のサヤは、10月限248.0円~3月限255.4円と**7.4円の順ザヤ**。若干サヤは拡大しておらず、今後はまた同ザヤ方向に向かうかも。

**週末現在の輸入採算価格は、…中略…**

国内営業倉庫在庫は、10/10現在で354トン減の5,706トン。15旬連続の減少であり、国内在庫の低下は続いている。

上海ゴム在庫は、…中略…

上海ゴム価格は、25000元を挟んでのもみ合い。国慶節明けに急騰した後は、完全に横ばいで

ある。

何度も言うが、在庫はどこにあっても在庫である。タイが20万トンの買い付けを国内消費に回し、輸出制限も実行するとしても、タイに行けば山ほどゴムはあるという事になるだけである。

ゴムはタイヤ消費が需要のほとんどで、タイヤは新車生産時にほとんど需要があるわけで、その新車が売れなければゴム需要が伸びるはずもないだろう。当方は、そういう考え方だ。

結論として当方の相場観は、チャートは三尊天井型になってきており、今の世界景気の動向を考えるとゴム需要は落ち込むだろう。よって、275.5円で天井を打っているとの見方である。

## 〔原油・石油製品〕

○NY 原油日足

…削除済み…

今週の原油の値動き

	10月限(当限)	前日比	3月限(先限)	前日比
10月15日	¥54,310	-160	¥53,330	-490
10月16日	¥54,730	420	¥54,240	910
10月17日	¥54,600	-130	¥54,030	-210
10月18日	¥54,710	110	¥54,160	130
10月19日	¥54,460	-250	¥53,600	-560

まずは原油から…

先週号においては『押し目買い方針が良いだろう。NY原油は94ドルと来れば噴き上げそうな格好であり、これは中東情勢での緊迫化を示唆しているのかもしれない』とコメントした。

今週の相場展開は、NY原油は92ドルを中心とした完全な横ばいだったが、週末に急落。10/19のNY原油は2.05ドル安の急落で、90.05ドルでの終了である。安値は89.83ドルまでであったが、何とか90ドル台は維持しての引けである。

100.42ドル(9/14) → 87.70ドル(10/3) まで…中略…

また10/16現在のファンドのポジションは、…中略…

○東京原油日足

…削除済み…

東京原油は、54,420円(10/17)まで上昇していたが、そこからはちょっとだれて53,600円での引け。

そこまでは何という事もなく、…中略…

ともかく早晚、相場が反発しないと、54,420円(10/17)で戻り天井を打ったと判断させるかもしれない。そうすると今度は、10/4の安値50,560円を取りに行く事になるだろう。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京原油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年10月	¥57,430	5月1日	¥57,710	5月2日	¥44,310	6月26日	¥54,460
2012年11月	¥47,650	5月1日	¥56,110	9月18日	¥44,190	6月26日	¥54,590
2012年12月	¥47,580	7月2日	¥56,080	9月18日	¥46,240	7月3日	¥54,360
2013年1月	¥48,890	8月1日	¥55,790	9月18日	¥48,420	8月1日	¥54,140
2013年2月	¥53,910	9月3日	¥55,540	9月18日	¥50,290	9月21日	¥53,840
2013年3月	¥52,040	10月1日	¥54,420	10月17日	¥50,560	10月4日	¥53,600

結論として当方の相場観は、早晚に大きく切り返せなければ、54,420円で戻りいっぱいになった可能性が高い。もしもそうならば、まずはまた50,560円を目指して下がる事となるだろう。

○東京ガソリン日足

…削除済み…

### 今週のガソリンの値動き

	11月限(当限)	前日比	4月限(先限)	前日比
10月15日	¥66,240	-480	¥66,610	-520
10月16日	¥66,530	290	¥67,190	580
10月17日	¥66,260	-270	¥68,900	-290
10月18日	¥66,530	270	¥67,050	150
10月19日	¥66,200	-330	¥66,430	-610

続いてガソリンです…

先週号においては『上値抵抗線突破により、押し目買いトレンドがなお強くなった状況であろう。まずは7万円台回復を狙い、着実に玉を仕込む相場であろう』とコメントした。

今週の相場展開は、67,330円(10/15)まで上昇したものの、その後はもみ合いながら軟化。週末は下落して終了したが、その後の夜間取引ではなお急落。65,200円の安値まで一気に1,000円以上の急落を演じる事となった。

61,020円(9/21)→67,330円(10/15)まで6,310円上げてきた相場も、週末～夜間取引の急落で2,000円以上の下げとなった。

6,000円超の上げ道中の中での押しは、63,900円(10/4)であるが、それを割り込むかどうかで67,330円が天井であったかどうかが決まるだろう。

チャートでは、相対力指数の70ポイントまではあるのかと考えていたが、…中略…

なお一代の推移は、以下のとおり。

### 東京ガソリン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年11月	¥69,280	4月26日	¥69,690	4月27日	¥54,040	6月26日	¥66,200
2012年12月	¥61,470	5月28日	¥66,660	9月18日	¥53,530	6月26日	¥65,650
2013年1月	¥54,070	6月26日	¥66,530	9月18日	¥53,460	6月26日	¥64,710
2013年2月	¥58,670	7月26日	¥66,350	9月18日	¥58,160	7月27日	¥64,330
2013年3月	¥64,510	8月27日	¥67,170	9月18日	¥61,020	9月21日	¥64,870
2013年4月	¥63,400	9月26日	¥67,330	10月15日	¥63,280	9月27日	¥66,440

10/19現在の業者間転売価格は、…中略…

10/13現在のガソリン在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、67,330円が大天井なのか、目先天井なのかはまだ不明だが、とりあえずは上げ相場が終了したと考えるのが妥当だろう。もう1,000円ほど下げたとして、そこでどうなるかに注目である。

○東京灯油日足

…削除済み…

今週の灯油の値動き

	11月限(当限)	前日比	4月限(先限)	前日比
10月15日	¥68,490	-440	¥66,810	-480
10月16日	¥69,070	580	¥67,600	790
10月17日	¥68,350	-720	¥67,180	-420
10月18日	¥68,590	240	¥67,370	190
10月19日	¥68,500	-90	¥66,920	-450

最後に灯油です…先週号においては『チャートはW底形成で強含みな相場である。しかし先物は4月限で需要期限月ではないため、買いは原油かガソリンの方が良いとの考えである』とコメントした。

今週の相場展開は、67,710円(10/17)までの上昇はあったが、概ね67,000円を挟んだもみ合い。しかし週末の夜間取引では急落で、66,000円までの下落となった。

69,250円(8/23)と69,750円(9/18)のWトップからの急落は、63,320円(9/27)で底入れ。そして63,320円を底とする逆三尊は、65,920円を抜けて完成していたのだが、それもおそらく67,710円(10/17)で戻りいっぱいとなったのだろう。

灯油はヘッジで売った方がマシという考え方で来ているため、…中略…

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京灯油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年11月	¥70,800	4月26日	¥71,400	4月27日	¥56,350	6月26日	¥68,500
2012年12月	¥64,110	5月28日	¥70,550	9月18日	¥56,800	6月26日	¥69,060
2013年1月	¥57,800	6月26日	¥70,400	9月18日	¥57,080	6月29日	¥69,040
2013年2月	¥61,810	7月26日	¥70,230	9月18日	¥61,350	7月26日	¥68,960
2013年3月	¥67,500	8月27日	¥69,750	9月18日	¥64,440	9月21日	¥67,940
2013年4月	¥64,320	9月26日	¥67,710	10月17日	¥63,320	9月27日	¥66,920

10/19現在の業者間転売価格は、…中略…

10/13現在の灯油在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、在庫逼迫も完全に解消された状況であり、先物が不需求期の限月ゆえに上値は限定的だろう。原油価格が暴落するようなら、灯油も当然大きく下がるだろうが、そこまで原油が悪いのかどうかも疑問なため、手は出しづらい状況と見る。

## [為替]

### ○ドル/円相場日足

…削除済み…

10/18には79.46円まで円安となり、抵抗ラインの79.21円は抜けた。次の抵抗線は79.66円。そして大きな抵抗ラインは、80.62円である。

チャートは77.13円の底入れ～一目均衡表の雲の上に出ており、7連続陽線で円安トレンドはすでに発生している。

…中略…

来週の主な予定は、

22日（月）米大統領候補、第3回討論会

23日（火）FOMC（1日目）

24日（水）FOMC（2日目）、米新築販売件数

25日（木）米新規失業保険申請件数、米耐久財受注

26日（金）米GDP、米ミシガン大学消費者信頼感指数  
などである。

### ○ユーロ/円相場日足

…削除済み…

ユーロ/円も、104円台まで円安に進行。これも日銀の金融緩和が材料視されているのだろうが、週末のNY市場では103.19円と若干円高で終了。

欧州首脳会議で、ユーロが売られた事が原因である。

…中略…

### ○ユーロ/ドル相場日足

…削除済み…

週末の欧米市場では、EU首脳会談でスペインに対する進展が何もなかったため、ユーロ売りが優勢で、ユーロドルは一時1.3035レベルまでドル高/ユーロ安に。

…中略…

---

このレポートは、私が個人的な判断で書いたものです。

内容の責任はすべて私に帰するものですが、取引に対する利益を保証するものではありません。

(当たり前ですが念のため)

ひげの中ちゃん相場情報

中田幸一郎

メールアドレス [info@higenaka.com](mailto:info@higenaka.com)